

A. 日 時 2017年5月24日(水曜日) 18時00分～20時00分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査 他7名

D. 提出資料《提出委員名も記入して下さい》

No. 19-01 : 第18回 性能評価法検討WG 議事録(案)

No. 19-02 : 居住性能評価指針・同解説 目次案

No. 19-03 : 建築物の振動に関する居住性能評価指針(水平振動改定案)

No. 19-04 : (仮タイトル) 同上の参考資料図

No. 19-05 : 居住性能評価指針・同解説 目次案

No. 19-06 : (仮タイトル) 不快度合とHA値の資料図

No. 19-07 : 水平の非定常波形の解析結果

E. 審議事項

1. 議事録確認

A) 資料 No. 19-01 「第18回 性能評価法検討WG 議事録(案)」について報告

→ 議事録案確認し、承認された

2. 議論

A) 資料 No. 19-02 「居住性能評価指針・同解説 目次案」について報告

→ 最新の本文案と、検討中の解説案について説明があった。本文は評価の表現等を修正したものである。解説については、大まかな内容と担当を検討した内容が記載されている

→ 解説は学術的な根拠を述べ、その後、今後の課題について述べる方向で検討した

→ 水平と一緒にする部分と分ける部分は今後の検討課題である

→ 本文について、定常と非定常の表は同じものなので、非定常の部分では低減方法だけ記載して表は再掲しない

→ 鉛直と水平で、共通で取り出せる部分は最後に調整する

→ 式については、本文にある方がすぐに使えるため、本文に掲載する。重複箇所は引用する方向で整理する

→ 本文は接線法がメインになる

→ 小委員会には、鉛直と水平の本文をまとめて出す方がよい。

B) 資料 No. 19-03, 04 「建築物の振動に関する居住性能評価指針(水平振動改定案)および参考資料図について報告

- 内容はSWGでの検討結果による。ただし、各性能評価グレードの説明の知覚確率の値は整理し、不快と不安は調査時の表現が異なるので、説明を分けた
- 解説は前回(20170419)のWGから変更していない
- 鉛直の案もふまえた解説の表現について整合の調整は今後行う

C) 資料 No. 19-05, 06 「居住性能評価指針・同解説 目次案」について報告

- 水平の非定常の本文案である。適用範囲となる周波数範囲を1.5Hzから10Hzとした。
- 時定数は10msのままとなっている。
(資料19-06では時定数による影響はあまりみられなかったため)
- 非定常の図は定常の図と横軸を揃える方が良いかどうか議論になった。対象範囲はそれぞれ違うが、相互の関係を示すことができるため、縦軸と横軸の範囲を揃えることになった

D) 資料 No. 19-07 「水平の非定常波形の解析結果」について報告

- 知覚の結果については、1/3オクターブバンド解析を行うと値が小さくなり、その妥当性が懸念される。継続時間による低減を行うとさらに値が小さくなるため、危険側の評価となる可能性もある。これらの傾向は今回の非定常の対象範囲外の10Hz以上でより大きくなった。
- 不安や不快で検討した方がよい
- 時定数630msも確認したほうがよい

※これらの資料から、議論を行い、様々な意見が出された。

- 細かい表現の統一は、松本主査に纏めていただく。早めに出してみんなで確認する
- 鉛直、水平の、かなり、まったく、やや、などの不快や不安の表現を統一できないか? という意見があった。元の調査内容等を確認した結果、統一は難しいことがわかったため、居住性能評価指針ではアカデミックな内容を重視することから現状案のままとした。必要であれば設計指針の方で適宜解釈して適用してもらう
- 本図の評価曲線の軸の表現をできる限り鉛直、水平で統一する
- はやめに最新データを松本主査へ送っていただく(遅くとも今月中)。松本主査が統一したものをメール審議で確認し、小委員会には本文案を提出する

